

2017年04月07日
株式会社 KADOKAWA

**星野源著『いのちの車窓から』 発売1週間で3刷6万部決定！
累計24万部に！**

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹）発行する星野源『いのちの車窓から』が3刷6万部、累計24万部となることが決定しました。



話題沸騰！ エッセイ集としては驚異の販売スピード！

12万部という異例の大部数初版で販売がスタートした本書。

昨年12月の発売決定の告知後予約が殺到し、発売前にすでに6万部の重版が決定。それにも関わらず発売開始4日目にして市場の7割が売れるという異例の販売スピードの中、市場の要請に応え、急遽6万部の3刷、合計24万部が決定した。

本書の購入読者層においては、読書に親しい40代女性をピークとして、幅広い世代構成を見せている。

オリコン週間ランキングでは早くもBOOK（総合）部門1位獲得！

紀伊國屋書店（和書部門）他、大型書店でも続々1位にランクイン！

オリコン株式会社が毎週発表する「オリコン週間“本”ランキング」では、全国の書店及びWEB通販の週間販売数をもとに、部門別やジャンル別、刊行形態別など様々な面からランキングが構成される中、BOOK（総合）部門のあらゆるタイトルを抑えて総合1位を獲得した。

しかもこのランキングの集計は月曜日から日曜までの7日間の売り上げを対象としており、3月30日（木）発売である本書では集計対象販売日数は4日間のみ。如何に本書の刊行が心待ちにされていたかが伺い知れる。

その他紀伊國屋書店全店合計（和書部門、3/30～4/4）、TSUTAYA BOOKS（文芸書ランキング、集計期間3/30～4/4）、三省堂書店（文芸・ノンフィクションランキング、3/30～4/5）など大型書店にても続々と販売数1位を獲得、書店店頭にて威勢を放つ一冊となっている。

『いのちの車窓から』内容ご紹介

星野源が、雑誌『ダ・ヴィンチ』で2014年12月号より連載をスタートした、エッセイ「いのちの車窓から」に、書き下ろしを加えて単行本化。ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」、「真田丸」、大ヒット曲「恋」に2度目の「紅白」出演と、怒涛の駆け上がりを見せた2年間の想い、経験、成長のすべてが詰まった一冊。星野源の面白さと、哲学と、精確さのすべてを注ぎ込んだ、誠意あふれるエッセイ集。なお、装丁を吉田ユニ、カバー・挿絵イラストを『キララキル』のキャラクターデザインもつとめた、すしおが手がけている。



著者：星野源（ほしの・げん）

1981年、埼玉県生まれ。音楽家・俳優・文筆家。アルバム『YELLOW DANCER』（2015年）、『恋』（2016年）が大ヒットを記録、第66回・67回『NHK 紅白歌合戦』に連続出場。俳優として、初主演映画『箱入り息子の恋』で第37回日本アカデミー賞新人俳優賞などを多数受賞。



2016年にはドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』、『真田丸』などに出演。著書に『蘇える変態』、『働く男』、『そして生活はつづく』、『星野源雑談集 1』。ミュージックビデオ集『Music Video Tour 2010-2017』が5月17日に発売。

書誌情報：

書名：いのちの車窓から

著者：星野 源

発売日：2017年3月30日（木）

定価：本体 1,200 円（税抜）

仕様：四六判/200 ページ

ISBN：978-4-04-069066-7

発行：KADOKAWA

特設サイト：

<http://promo.kadokawa.co.jp/hoshinogen/inochinoshasokara/>

以上